



学外から電子資料を使う

「文献調査」資料その2

豊橋技術科学大学附属図書館
2024

大学で契約しているデータベースは、大学の構成員向けに契約しているので、学内のネットワーク（有線LAN・無線LAN）に接続したパソコンなどから利用できるようになっています。学外からのアクセスでは、IPアドレスによりデータベースへの接続が制御されています。

しかし、次に説明する方法で接続すれば学内と同様に、自宅や出張先などでも、契約しているデータベースが利用できるようになっています。

こちらの資料「学外から電子資料を使う」では、その学外から利用する方法を説明します。

自宅での学習や研究でも利用可能な電子資料も多くありますので、ぜひ学習や研究にご活用ください。

学外から電子資料を使う

学外から接続すると…

すぐにデータベースの検索画面が開かない
電子ジャーナルのフルテキストが利用できない



学内で接続したときと画面が違う！

注意事項

契約上、一部のデータベースでは、学内構成員でも派遣職員や名誉教授、外国人研究者、研究員の方は学外からのリモートアクセスができません。



それでは、学外から電子資料を利用する方法を説明します。

学外で、データベースに接続しようとする、契約しているものであっても、アクセスしている人が大学の構成員だと認識されない、すぐに検索画面が開かなかったり、電子ジャーナルのフルテキストがダウンロードできなかったりします。

しかし、次のような接続方法をする、大学構成員だと認識されて、学内で接続している時と同様に利用できるようになります。

(注意事項：一部のデータベース、CUP・RSCの電子ジャーナルについては、契約上、派遣職員・名誉教授・外国人研究者・外国人受託研修員・民間等共同研究員・受託研究員・内地研究員・日本学術振興会特別研究員・その他研究員の方は学外からのリモート接続は不可になっています。ご了承ください。)

学外から電子資料を使う

< 接続方法 >

1. VPN接続
2. 学認接続

学外から接続する主な方法は2つあります。

1つめはVPN（ブイ・ピー・エヌ Virtual Private Network）接続です。

今回の「文献調査」資料その1で説明しています2つの文献検索データベースでいうと

Scopus, CAS SciFinder Discovery Platform for Academics ともにVPN接続に対応しています。

2つめは「学認（がくにん）」サービスを通じた接続です。

「学認」とは、学術認証フェデレーションのことです。（英語表記：GakuNin）
Scopusが対応しています。

1.VPN接続

<接続方法>

- ・情報メディア基盤センターのVPN接続のページを参照

情報メディア基盤センター VPN接続ページ

URL <https://imc.tut.ac.jp/network/vpn>



記載してある接続手順に従って、
VPN接続用ソフトウェアをダウンロードして設定をする



VPN接続をすると、学内と同様に利用できる

順番に説明していきましょう。
1つめのVPN接続の方法です。

まず、VPN接続の方法については、情報メディア基盤センターのVPN接続のページを参照してください。

<VPN接続のページ URL <https://imc.tut.ac.jp/network/vpn> >

この説明のページは、情報メディア基盤センターのアカウント・パスワードを入力すると学外でも閲覧することができます。

記載されている接続手順に従って、自分のパソコンや端末にVPN接続用ソフトウェアをダウンロードして、設定をしてください。

VPN接続すると、学内にいる時と同様に各データベースが利用できます。

ソフトウェアをダウンロードする手間がありますが、ほぼ、どのデータベースも対応できますので利用してみてください。

2.学認で接続 -Scopusの場合-

<Scopus>
URL
<https://www.scopus.com/>



①Scopusを開く、クリック

②大学名を確認してクリック

③ユーザー名、パスワードを入力後ログイン

2つめ、「学認」（がくにん）というシステムを通じて接続する方法です。

大学で、「学認」接続可となっているデータベースについて個々に設定を行い、学外から利用できるようにしています。

「学認」での接続は、それぞれデータベースによってログインするところが異なりますので画面例を参照してご利用ください。
情報メディア基盤センターのアカウントとパスワードを入力するだけで、利用できます。
ソフトウェアなどのダウンロードは必要ありません。

こちらはScopusの学認で接続する画面例です。
Scopusのサイトに接続します。<URL <https://www.scopus.com/>>

- ①学外でScopusへ接続すると、通常とは異なり、「Scopus Previewへようこそ」の画面になります。
「Scopusへのアクセスをチェック」をクリックします。
- ②「所属機関経由でアクセスする」というページになるので、大学名を確認してから下にある「豊橋技術科学大学（Toyohashi U…）」をクリックします。
- ③次に、情報メディア基盤センターの個人アカウント・パスワード入力画面になりますので、入力します。

2.学認で接続 -Scopusの場合-

④“次回ログイン時に再度チェックします”にチェックして同意

サービスから提示された説明:
Access Elsevier products using your institutional credentials

サービスに関する追加情報

サービスに送信される情報

eduPersonEntitlement	urn:mace:dir:entitlement:common-lib-terms
eduPersonTargetID	n8KeZSSa8DcJDRJRHfYb9vniKas=

サービスのデータプライバシー情報

続行すると上記の情報はこのサービスに送信されます。このサービスにアクセスするために、あなたに関する情報を送信することに同意しますか？

同意方法の選択:

- 次回ログイン時に再度チェックします。
- 今回だけ情報を送信することに同意します。
- このサービスに送信する情報が変わった場合は、再度チェックします。
- 今回と同じ情報であれば今後自動的にこのサービスに送信することに同意します。
- 今後チェックしません。

すべてのものに同意する情報を今後アクセスするすべてのサービスに送信することに同意します。
この設定はログインページのチェックボックスでいつでも取り消すことができます。

同意

検索画面が開きます

Scopus

検索開始
最も信頼性が高く、関連性が高い最新の研究成果のすべてをここから発見

文献 著者名 所属機関 検索のヒント

検索項目
論文タイトル、抄録、キーワード

検索語を入力*

+ 検索条件を追加 対象年を追加 詳細検索 >

検索開始 保存済み検索式

検索を開始すると、検索履歴がここに表示されます。検索を開始するためにサポートが必要な場合は、検索のヒントをご覧ください。

学認について（学内閲覧限定ページ）

URL
https://lib.tut.ac.jp/ejournal/out_campus.html#ga_kunin



- ④その後は画面に従って、情報の送信に「同意」とするとScopusの検索画面に遷移します。その後は、学内にいるときと同様に利用できます。

そのほか

そのほかの電子資料の学認での接続方法 (画面例)

図書館ホームページ > 検索 > 学外からの利用

URL

https://lib.tut.ac.jp/ejournal/out_campus.html

個人アカウントの作成についての説明なども掲載
参考にご利用ください

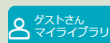


【お問い合わせ】

豊橋技術科学大学図書館 情報図書係サービス担当 service@office.tut.ac.jp

問い合わせについて [OPAC > マイライブラリ > お問い合わせフォーム](#)

OPAC URL <https://opac.lib.tut.ac.jp/drupal/>



以上のような接続方法で行うと、学外からも契約しているデータベースを利用することができるようになっています。

今回はScopusでの例を説明しましたが、そのほかの電子資料（データベース・電子ジャーナル・電子ブックなど）の学認システムでの接続方法画面例、個人アカウントの作成をして学外から利用する方法など、図書館ホームページに掲載しています。

<URL https://lib.tut.ac.jp/ejournal/out_campus.html >

青いバーの検索のところにカーソルを合わせてプルダウンされる「学外からの利用」のページをご覧ください。

参考にいただき、在宅での研究や学習にぜひご利用ください。

学外からの利用についてご不明な点は、図書館までお問い合わせください。メールやWebからのお問い合わせを受け付けています。